

# 天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟

編集 / 布教広報委員会

発行所 / 〒 509-5401 岐阜県土岐市駄知町 1564-20 瑞雲寺内

印刷所 / 〒 960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社

郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第257世天台座主  
森川 宏映 猊下

令和5年  
2月28日  
発行

## index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
天台仏教青年連盟全国大会 東海結集	3
小型重機資格取得講習に臨んで	4
オンライン研修会開催 「善光寺信仰と御開帳」	4
第4回連盟主催婚活イベント	5
全日仏青全国大会に参加して	5
《特集》 祖師先徳鑽仰大法会伝教大師1200年大遠忌 天台仏青連盟特別記念報恩法要並中央研修会	6~7
兵庫天台仏教青年会 創立50周年記念事業報告	8
茨城天台仏教青年会 社会福祉支援活動	8
第57回 天台青少年比叡山の集い	9
インフォメーション	9
協賛金協力者御芳名	10~11
常任委員会委員長報告	12

### 公式ホームページ

(新HP) <https://www.tendai-bussei.com/>

(旧HP) <https://www.t-y-b-a.com/>

天台仏教青年連盟

検索



連盟では公式ホームページや各SNSの運営を行なっています。ホームページでは、連盟主催行事や過去の記事、毎年発行される会報誌『天台佛青連』の最新号やバックナンバーを閲覧いただけます。また、SNSではFacebook・instagramに加え、LINE公式アカウントでの情報発信も始めましたので、併せてご活用ください。



情報通信委員会

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。平素より一宗をはじめ延暦寺一山ご寺院様及び全国の天台宗ご寺院様、並びに各教区仏青会員各位におかれましては、天台仏教青年連盟の活動に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。



本年度は、十月に全国大会東海結集を、日泰寺様に於いて開催致しました。地方での開催は三年に一度、十月に全国大会東海結集を、日泰寺様に於いて開催致しました。地方での開催は三年

## 継承と革新

天台仏教青年連盟  
代表 角本 尚隆 (九州西)



ぶりとりましたが、参加人数を限定し一日のみの研修・法要と致しました。社会の変化に伴い、私たちが継承事業を革新して時代に合わせた取り組みを考えていく時だと感じております。また、本年は祖師先徳鑽仰大法会の最終年度となりました。私たちも、二年前に延暦寺様に於いて法要を企画していましたが、残念ながら延期していただきました。大法会最後の年になり、私たちにできる事を考え、本年五月に浄土院周辺の清掃作業をさせて頂き、十二月には延暦寺大講堂に於いて「祖師先徳鑽仰大法会伝教大師一千二百年大遠忌天

台仏教青年連盟特別記念報恩法要」を、約七十名の出仕にて執り行いました。各教区仏青より三名までの参加と制限させて頂きましたが、多くの会員が参加して下さい。青年僧らしい大きな、そして声のあった法要をご本山に響かせることができたと思えます。今回はこの大法会記念法要を、一宗主催の天台宗仏教青年中央研修会と同時開催とさせて頂き、一日目に研修会浄土院参拝、二日目に法要という新しい試みをさせて頂きました。この企画に関しまして、当初より天台宗務庁社会課様、延暦寺様のご理解とご指導のおかげと感謝申し上げます。

コロナの発生から約三年が経過し、私たちの生活、又寺院運営においても多くの変化が生じてきております。私たちに、仏様の御教えという伝え続けなければならない、継承すべきことと、その伝え方のように、社会や人々の生活の変化によって革新すべきことがあると思えます。いか



に現代を生きる人たちに伝え、教え導き共に仏道をなすのか。若者と同世代を生きる青年僧の今後の取り組みは、非常に大きな役割を果たすと考えております。この連盟という組織を活かし、全国の会員相互の協力、又全日本仏教青年会を通しての他宗との協力など多方面との連携を強化し、少しでも多くの方々に仏教を感じて頂けるような社会づくりに貢献できるよう、全国の会員と共に一層精進してまいります。宗内諸大徳、諸先輩方にはご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、なにとぞご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 御挨拶

天台宗宗務総長  
阿部 昌宏

天台仏教青年連盟会員の皆さま方におかれましては二〇二三年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素より宗門諸行事へのご協力はもとより、多方面に亘る活躍に對しまして深謝申し上げます。

昨年八月四日、メインテーマ「気候変動と宗教者の責務」のもと比叡山宗教サミット三十五周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」が開催されました。日本でも毎年のように暴風雨による自然災害が多発しており、多くの人が苦しみや不安のなかにあります。そのなか、いち早く被災地でボランティア活動を展開されてこられた仏青連盟はじめ全国の仏青会員の皆さまには敬意と感謝の念に堪えません。今後も救援活動に従事される皆さまに對し、出来る限りの支援をさせていただきます。

また、祖師先徳鑽仰大法会結願の今年度、皆さまにおかれましては十二月

六日、延暦寺大講堂において「天台仏教青年連盟特別記念報恩法要」を厳修なされました。皆さまの日々のご活躍には、祖師先徳方も大変お喜びのことと存じます。

少子高齢化などによる人口減少・地方の過疎化、また信仰形態の多様化・変貌により、寺院運営また僧侶としての教化活動が問われる昨今でございますが、仏青連盟の皆さまと共に宗祖伝教大師のみ教え「忘己利他」を体し、一切衆生の安寧秩序のため勇往邁進すれば、いかなる障りも治まり、宗祖が願われた「浄仏国土」建設は必ず成就すると私は確信しております。

次世代を担う皆さまには今こそ、宗祖のご精神を大いに敷衍すべく、果敢に挑戦奮起されますようご活躍を期待いたします。また今後とも天台宗発展により一層のご助力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



## 御挨拶

延暦寺執行  
水尾 寂芳

新年令和五年を迎えました。本年が、天台仏教青年連盟の皆さまの、より一層のご活躍の年でありますことを心からお祈りし、ご期待申し上げます。また併せて、平素よりの皆さまの本山護持へのご高配、ご芳情に對して厚く御礼申し上げます。本年もどうか宜しくお願い申し上げます。

昨年十二月六日には、天台仏教青年連盟の伝教大師千二百年大遠忌報恩法要が、本山大講堂で七十人を超える青年僧の皆さまのご出仕により厳肅に執り行われましたこと、有り難く御礼申し上げます。来る三月十六日には十一一年間の大法会の総結願の法要を勤めます。連盟の皆さまにもどうか宜しくお願い申し上げます。

さて丸三年になろうとする新型コロナナ感染症、その終息は未だ見えない中ではありますが、活動をウィズコロナで元に戻していこう、と動き出しているようでもあります。ただ、本当に元に戻すことができるか心配もあり

ます。特に以前から年中行事として行なってきた法要、法儀、檀務が省略されたり、規模が小さくなって三年が経過しました。元に戻すべき形が分からなくなっていたり、特に若い人たちは経験しないまま知らないことも増えていっていると思います。略してしまつたことを元に復すだけではなく、本儀を尋ねて再認識することも必要です。仏青の皆さまのご尽力をお願いする次第です。

五十年に一度の宗祖の大遠忌は、期間として一応の区切りを迎えました。次の節目は、宗祖のご生涯をたどって、五十年前に倣えば、令和十年がご出家千二百五十年、令和十二年がご得度千二百五十年です。総本堂根本中堂の工事完成の予定は令和九年十二月です。どうか次の目標を高く掲げ、報恩謝徳と二利兼済に益々のご精進とご活躍あらんことをお祈り申し上げます。



天台仏教青年連盟全国大会

東海結集

伝燈イノベーション〜新時代への鍵〜

東海仏青 副会長 柴田憲良

令和四年十月七日(金)、天台  
仏教青年連盟全国大会東海結集  
を名古屋市の覚王山日泰寺にて  
開催しました。私たち青年僧は、  
祖師先徳方から伝えられてきた  
「燈火」を後世に伝えていく使命  
があります。今回の結集では、お  
釈迦様や伝教大師の教えを再確  
認した上で、新しい地平を展望  
しようという積極的な意味を込  
めて、標題のテーマを設定しま  
した。



オンライン化、デジタル化が進  
展し、めまぐるしく変化する社  
会に生きる我々は、何を継承し、  
何を変えていくべきなのか。こ  
うした疑問を解く「鍵」を見つけ  
られるような結集にしたいとい  
う想いで構想してまいりました。

こうした問題意識は、新たな  
試みに挑戦するきっかけになり  
ました。その一端を記せば、お釈  
迦様の御真骨を奉安する日泰寺  
にて報恩法要を厳修することで  
仏教の原点に立ち返るとともに、  
結集特設HPを開設し、目的を  
共有した上でスケジュールなど  
を逐一公開したことが挙げられ  
ます。

講演には、奈良国立博物館名  
誉館員の西山厚先生に、「仏教は  
やさしい」という演  
題でご講演いただき  
ました。「この世  
のあらゆるものは  
美しく尊い」とおっ  
しゃる先生のお話  
しぶりそのものが  
とてもやさしく、穏  
やかなものであり  
ました。仏教が説

く真理を自分のものとし、全ての  
関わりあることを「自分事」とし  
てやさしく引き受けられるよう  
に、日々精進していかねばなら  
ないと改めて決心いたしました。



東海結集に参加して

埼玉仏青 代議員 田中晃生

私が仏青に入って初めて  
参加した東海結集から十五  
年が経ち、再びこの地を訪  
れた喜びと共に、初心を思  
い出し身の引き締る思いが  
込み上げてまいりました。

結集とは文字通り、ばら  
ばらになったものが一つに  
まとまること。一箇所に集  
まること。であります。し  
かし、新型コロナウイルス  
の影響により、これまでの  
当たり前が特別であったの  
だと思ひ知らされました。

そんななか開催された  
今回の東海結集は、各教区  
仏青より参加制限はあった  
ものの、コロナ以前の開催  
形式で実施されました。リ  
モートではお顔を拜見して  
おりましたが、数年ぶりに  
再会した方々もおり、直接  
会うことの大切さを身に染  
みて実感いたしました。

未だ収束の兆しが見えな  
い新型コロナウイルスの渦中、開催  
実現に向け企画・運営をは  
じめ、多方面にわたってお骨  
折りをいただきました東海  
仏青の皆様に対し、心から  
感謝申し上げます。

誠実と真心で奉仕する  
御守・授与品・参拝記念品奉製  
天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

天台宗専門法衣司  
山科大西法衣店

〒607-8357  
京都市山科区西野樋川町45-21

電話 (075) 591-9159  
FAX (075) 502-5418  
0120-568-024

社寺建築設計施工  
株式会社 大幸社寺工務店



埼玉営業所 埼玉県川口市東本郷1-9-4  
電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063  
本社 東京都足立区勝2-22-4  
電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077

# 小型重機資格取得講習に臨んで

群馬仏青 紺野 沙恵

研修会では被災地と想定として足元は悪くなっておりました。日本笑顔プロジェクトさんの施設のある小布施町の気候もあり、陽の当たらない場所は足元から身体のコまで冷えるのを

感じました。それと共に事前学習の動画で観た被災した現場の様子、東日本大震災の際にテレビで流れた被災地の様子を思い出しました。被災した現場では寒さや暑さだけでなく、その場に生活していた人は体で感じる以外の辛さや不安を背負っていることを考えて、被災地復興に役立つ力が一人でも多く必要なのを実感しました。



は小型の整地用重機の操作練習はもちろんのこと、物資の運搬などに使用するバギーの乗車体験もさせて頂き貴重な体験でした。研修会を終えて、女性で腕力の弱い自分が瓦礫撤去などの被災地の力事に助力できる喜



びを感じました。人手不足が騒がれている今、災害現場のみでなく、普段の作務でも場合によっては重機の手が必要となることがあります。そんな時にも活用できる技術を身につけたことは何よりの強みになりました。また、道路工事や建設現場に置いてある重機の見方が変わり己の興味幅の広がりを実感しました。また檀家さんの気持ちも共感できる材料になったのではないかと思います。整地資格の他に解体や運搬の資格にも興味を湧きましたので機会があればそちらの技術も身に付けたいです。

## 連盟主催 第一回オンライン研修会開催 善光寺信仰と御開帳

茨城仏青 会長 瀧川 真照

『牛に引かれて善光寺詣り』『遠くとも一度は詣れ善光寺』の言葉でも有名な長野県「善光寺」において、七年に一度の盛儀「善光寺御開帳」が令和四年四月三日～六月二十九日に行われ盛り上がりを見せました。

令和四年五月二十四日、連盟主催によるオンライン研修会で善光寺本覺院 小林順彦師をお迎えし『善光寺信仰と御開帳』の題目で御講義頂きました。

まず開帳には各寺院で行う「居開帳」と出張して行う「出開帳」があり、善光寺の出開帳では江戸・京・大阪で行う三都開帳と諸国を巡る回国（巡国）開帳を江戸時代に盛んに行っており、その具体的な由緒について丁寧に御講義頂きました。

また日本最古の仏像といわれる「一光三尊阿彌陀如来」をご本尊とし、宗派の別なく誰でも分け隔てなく受け入れる寺院であるからこそ国内外から多くの参拝者が訪れることが分かりました。

これらのことから現在の善光寺信仰の広がり、昔からの宣

伝活動の積み重ねや庶民に寄り添った寺院であったからこそと言えるかと思えます。今回の御開帳はコロナの影響もあり参拝すること叶いませんでしたが、次回の御開帳では今回学んだ事を糧とし、その御利益を肌で感じ取ることが出来たらと思えます。



第2回オンライン研修会  
2月15日開催



【講師】  
甲南病院 理事長  
一隅を照らす運動理事  
古倉みのり氏

演題  
宗教者に求められる  
ことについて



# 第四回連盟主催婚活イベント

連盟副代表 甲斐 健盛(兵庫)

令和四年九月十日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルを会場にして、天台宗後援、天台仏教青年連盟主催で婚活イベントが開催されました。四回目となる今回は、関西ブライダル明石店ベルノース様、婚活道場主催の蔵立和之氏にご協力いただいた内容となりました。

男性陣は婚活パーティー開始前に蔵立氏からの「婚活セミナー」を受講いただきました。時折笑いもおこる楽しい内容で、参加者の皆様も緊張がほぐれたようでした。セミナー後女性参加者も到着され、パーティーが始まりました。

関西ブライダル様の熟練の進行によって、最初に一對一のトークタイム、そしてお酒や軽食を伴ったフリータイムとスムーズにパーティーは進みました。最後にカップリングタイムとなり、結果的にめでたく三組がカップル成立となりました。

僧侶としては少し出にくい土曜日午後の開催となりましたが、全国から参加いただきました。ありがとうございました。今後とも青年僧侶に出会いの場を提供する事業を開催したいと考えています。

日午後の開催となりましたが、全国から参加いただきました。ありがとうございました。今後とも青年僧侶に出会いの場を提供する事業を開催したいと考えています。



## 寺婚

お坊さんの婚活パーティーイベント♡

2022年  
**9/10**  
(土)  
16:00~18:00  
@神戸メリケンパーク  
オリエンタルホテル

---

★スケジュール★

15:30~16:00	受付開始
16:00~17:00	婚活セミナー「婚活道場」
17:00~17:40	婚活パーティー 1対1でお一人ずつトークタイム
17:40~18:10	婚活パーティー お食事を取りながらフリータイム
18:10~18:30	マッチングタイム・閉会

★会場★ 8000円  
※フリードリンク(ワイン・カクテル・ソフトドリンク) 軽食付き

★対象★ 天台仏青会員 独身男性      ★定員★ 名 〇〇名

主催/天台仏青連盟 後援/天台宗

# 全日仏青全国大会に参加して

神奈川仏青 会長 大久保 良尚

令和四年十一月十日、神奈川県横浜市にあるロイヤルホールヨコハマにおいて、全日本仏教青年会全国大会並びにWFBY(世界仏教徒青年連盟)創立五十年記念「世界平和祈願法要」が開催されました。

全日仏青全国大会は、四年ぶりの対面での開催ということも

あり様々な宗派の僧侶が大勢集い盛大に行われました。基調講演には菅義偉衆議院議員(前総理大臣)をお招きし、大変貴重なお話を頂きました。

全日仏青理事長の西郊良貴師は、今大会の挨拶にて、大会を通じて我々青年僧が社会からどのような行動を期待され、何を变えていくべきなのかを今一度考えてほしいと言われました。実際に大会に参加してみて、大変勉強になり有意義な時間を過ごすことが出来ました。

講演後にはレセプションが行われ、和太鼓の余興などもあり盛況のうちに閉会となりました。



あり様々な宗派の僧侶が大勢集い盛大に行われました。基調講演には菅義偉衆議院議員(前総理大臣)をお招きし、大変貴重なお話を頂きました。

全日仏青理事長の西郊良貴師は、今大会の挨拶にて、大会を通じて我々青年僧が社会からどのような行動を期待され、何を变えていくべきなのかを今一度考えてほしいと言われました。実際に大会に参加してみて、大変勉強になり有意義な時間を過ごすことが出来ました。

講演後にはレセプションが行われ、和太鼓の余興などもあり盛況のうちに閉会となりました。

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷  
ふくさ・進物品・お誂え全般 卸

## 有限会社 ヤマゼン

〒541-0056  
大阪市中央区久太郎町3-1-15  
ユー・アイビルディング6F  
TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552

沈香 白檀 各種焼香 本舗  
法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

## 風間薫芳堂

総本山 延暦寺御用達

〒607-8454  
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8  
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

文化財修復・社寺建築

## 木澤工務店

本社 〒606-8414  
京都市左京区浄土寺真如町111番地-1  
TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430  
〒529-1314  
営業所 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地  
工場 TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727



# 伝教大師1200年大遠忌 念報恩法要並中央研修会

## 日程

■12月5日(月)

◇開講式



◇浄土院・椿堂参拝

◇講演

「宗祖伝教大師の御教えを  
現代社会にどう生かすか」  
社会部長 柴田真成 師



◇法要習礼



■12月6日(火)

◇朝事

◇閉講式

◇報恩法要

例時作法並伝教大師和讃読誦  
於 大講堂



前代の龕灯籠修復に引き続き特別事業の一環といたしまして、浄土院で用いられている献膳のお膳一式（香呂右）と盛付用のお椀（香呂左）を修繕し、侍真様にお渡しさせていただきました。



浄土院と聖徳太子ゆかりの椿堂を2班にわかれて参拝しました。

## 祖師先徳鑽仰大法会記念事業 浄土院清掃

連盟事務局 次長 清水 信秀(京都)

令和4年5月18日、祖師先徳鑽仰大法会記念事業の1つとして比叡山浄土院周辺の清掃活動をしました。当初は各教区から参加者を募り大々的に行う予定でしたがコロナ禍ということもあり、大法会特別委員会の委員と本山仏青とで実施させていただきました。

まず浄土院御廟前でお勤めをさせていただいたのち侍真の渡部光臣師、管理部長の小森文道師に浄土院でお仕えすることの大事さ、また訪れるだけでも気持ちひきしまる天台僧として特別な場所であると、お話を頂戴いたしました。今回の清掃は6月4日に行われる長講会の法要の前に表参道、裏参道の整備のご奉仕をさせていただくというものでした。半日ほどの短い活動でしたがとても貴重な体験をさせていただきました。





令和4年度  
特集

# 祖師先徳鑽仰大法会 天台仏青連盟特別記



## 集える僧伽の有り難さ

九州東仏青 会長 寺田 豪淳

コロナウイルスの影響で2年の延期をもつての開催であった。一言で表すと「共に集い学び祈ることの有り難さを体感した仏青中央研修会」であった。初日は、浄土院御廟での参拝後、渡部侍真様にお会いし貴重な堂内拝観。仏青よりお大師様献膳に修復を施し寄進した。その後、柴田社会部長の講演を拝聴。なかでも「御遺戒」の伝教大師の弟子育成に対する心構えは現代社会で問題となっているそのものであり、特に同世代に行動をもって伝えていく必要があることを痛感した。2日目の主な行事は大講堂での「祖師先徳鑽仰大法会 伝教大師1200年大遠忌特別記念報恩法要」であった。いつもは末席に随喜している我々青年僧が、御宝前にて法要を行うという特別なものであった。加行から20年以上経つが、本山に登る時には独特の緊張感がある。その中にもご臨席いただいた両内局の応援にも似た眼差しやお心をいただき、これからは本山護持、仏法興隆に努める決意を新たにしたい。阿部宗務総長からは来年3月16日に行われる結願法要への強い決意、水尾執行よりコロナ禍を経験し、これから変えていくことが必要なこと、また変えてはいけないことを考えることが提言された。末寺である我々は、お大師様の教えを通じてどのように地域で行動することができるかが、これからの寺院の在り方を左右すると思う。そういった意味でも数年ぶりに顔を合わせ近況報告ができたことは本当に貴重なことであり、そのため僧伽がここにある有り難さを痛感した研修会であった。



教区仏青活動レポート

兵庫天台仏教青年会創立五十周年記念事業報告

兵庫仏青 会長 虎熊 円城

去る令和四年十一月九日に初代会長が住職をされていた神戸市兵庫区にある能福寺様において、兵庫天台仏教青年会創立五十周年記念式典並びに記念法要が厳修されました。

当日は晴天に恵まれ、兵庫教区宗務所長様、教区役職、歴代会長の皆様を御来賓に迎え、「伝教大師和讃」「山家学生式」をお唱えしました。

その後、神戸ポートピアホテルに場所を移し、記念祝賀会を開催しました。記念法要からのご来賓に加え、兵庫天台仏教青年会賛助会員の皆様、天台仏教青年連盟代表様、各教区代表の皆様にもお越しいただき、沢山のお祝いの言葉を頂きました。昭和四十六年十一月に発足した兵庫天台仏教青年会は令和三年が五十周年記念の年でしたが、コロナ禍により開催の延期を余儀なくされました。

しかしながら教区の多くの先輩方からのご協力により無事に開催でき、五十年という節目に会員として活動させて頂けているご縁に感謝でいっぱいの一日子です。



今後六十年、七十年と続いていくように会員一同努めて参ります。

茨城仏教青年会 社会福祉支援活動

茨城仏青 副会長 大林 正俊

新型コロナウイルス感染症流行により行動制限がされてから三年が経過しました。当会においても活動が制限される中、少人数での法要やリモートによる役員会や研修会など、今までにない活動を余儀なくされました。コロナ禍において今出来る活動はないかと協議を重ね、コロナ禍で困窮されている方々やご家庭を、仏青会員各寺院にお供え頂いたお供物でご支援を出来ないか、当会々長瀧川真照師の提案があり支援活動を行う運びとなりました。

当会において初めての活動でありますので、県社会福祉協議会様のご協力を賜り、スムーズに支援活動を行うことが出来ました。初回(令和三年度)は仏青会員各寺院より集めたお供物を県社協様にご寄贈致しまして、各市町村の社協様へ分配して頂きました。第二回(令和四年度)は教区内寺院様にご協力を募り、各都内に一人仏青会員を代表者として置き、お供物の収集を行いました。有難いことに多くの支援物資を寄贈させて頂きました。二回目においては各都代表



この支援活動を通じて、寺院の存在意義である地域社会を照らす役割を改めて考える機会を頂きました。また、檀信徒様からお供物を余すことなく、ご縁ある方々が少しでも心が温かくなって頂ければ、仏様も喜んで頂ける支援となります。これからも茨城仏青の社会福祉支援活動として、地域社会を照らして参りたいと存じます。

<p><b>地水火風空</b></p> <p>品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでいます。</p> <p>営業品目 卒塔婆 角塔婆 縁木塔婆 ゴマ札 各種特寸あり</p> <p>塔婆製造販売 <b>(株)協和木工所</b> 東京都西多摩郡日の出町平井1316 TEL. 0425-97-0732 FAX. 0425-97-1816</p>	<p>お香 <b>みどり花</b></p> <p>☎ 520-0524 滋賀県大津市和邇今宿 384-3 電話 077-594-1845 FAX 077-594-2151</p>	<p>天台宗務庁御特命 三諦章袈裟専織所</p> <p>山寺庁連 本務所用 総経宗御</p> <p><b>森忠法衣店</b></p> <p>五代目 森 忠兵衛</p> <p>〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入 電話 075-231-1203番 FAX 075-255-7020番</p>
--	---	--



# 第五十七回 天台青少年比叡山の集い

実行委員長 浅野 慈航(南総)

「三年間の中止を経て、いよいよ再始動だ！」という意気込みで準備を進めてまいりました『比叡山の集い』ですが、新型コロナウイルス第七波の影響により残念ながら中止といたしました。

しかしながら、六月のリーダー事前研修会を無事に行うことができ、次回に向けての大きな糧になりました。

規律ある生活・行動の中で感謝(合掌)の心を育むというテーマのもと、将来を担う青少年の育成教化という願いで継続されているこの行事は、今年度で



五十七回目となります。次こそは本山開催を信じ、このコロナ禍でも安心して研修が行えるよう協議を進めていきたいと考えています。

毎年の課題ですが、研修生の指導・サポートをするリーダーの人数を集めるのが年々難しくなっているのが現状です。安全に研修を行うために一人でも多くのリーダーを必要としています。皆さんと手を携え『比叡山の集い』を作り上げてみませんか？ 多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

## ●インフォメーション

### 令和4年度 天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- ウクライナ支援金 ..... 145,806円
- 連盟救援基金..... 310,000円
- 合計..... 455,806円

#### 【令和4年度 連盟支援団体】

連盟救援基金より下記の6団体に支援金を送付いたします。

- ①PMJパンヤメッタ ②タイ プラティーブ財団
- ③一隅を照らす運動総本部 ④日本赤十字
- ⑤ユニセフ ⑥UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)

ご協力いただきました各仏青様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。  
(救援委員会)

※上記の募金額は令和4年12月20日現在です。

### 令和5年度 天台仏教青年連盟全国大会 信越結集

- 日 程: 令和5年10月19日(木)～20日(金)
- 会 場: 1日目 … ホテルメトロポリタン長野
- 2日目 … 善光寺

天台宗信越仏教青年会は令和2年に創立50周年を迎え、当会50周年記念事業の1つとして、当初より1年延期となりましたが令和5年秋に長野市にて『令和(イマ) 求められる佛の教えのススメ方』(仮)と題して2日間の日程で信越結集の開催を予定しています。主に1日目は長野市内会場にて記念講演、2日目は善光寺様への参拝を予定していますが、今もなお新型コロナウイルス感染症の蔓延により宗内の様々な行事・法要が延期・規模縮小・中止となっており、信越結集も開催時期の状況によっては諸々変更となる場合がございますので何卒ご了承ください。

コロナ禍の終息と天台青年僧の皆様のご健勝を祈念し、多くの方々のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(天台宗信越仏教青年会)

法衣・稚児貸衣装・仏具莊嚴品  
贈答記念品・授与品

株式会社 鈴木法衣店

全国共通フリーダイヤル 0120-55-0369

東京店 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号

東京店直通 FAX番号 0120-447-560

埼玉店 〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台東1丁目15-7

埼玉店直通 FAX番号 0120-66-5966

ホームページ <http://www.suzukihouten.jp>

COLORFUL  
FUNCTION

色は、特長。  
色は、機能。

混ざり合って、  
変化が起きる。



福島カラー印刷株式会社



有限会社 むりかみ

〒591-8022

大阪府堺市北区金岡町 3001-1-25

電話 (072) 258-0122

FAX (072) 255-4709



# 天台佛教青年連盟 協賛金協力者御芳名 (敬称略)

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



延暦寺執行 水尾寂芳	総本部長 一隅を照らす運動 竹内純照	社会部長 柴田真成	岩田真亮	教学部長 船戸俊宏	財務部長 甘井亮淳	法人部長 小林祖承	総務部長 阿部昌宏	宗務総長 天台宗務庁
東海教区 常覺院 村上圓竜	九州西教区 青龍寺 藤光俊	九州東教区 善正寺 野中玄雄	山陰教区 皆成院 清水成真	岡山教区 千光寺 葉上観行	京都教区 護淨院 松景崇誓	滋賀教区 眞迎寺 辻井芳道	延暦寺一山 護心院 竹林幸祥	宗議会議員 (寺籍簿順)
群馬教区 満勝寺 原徳明	群馬教区 昌樂寺 綾小路乗俊	埼玉教区 福正寺 大澤貫秀	南総教区 観明寺 細野舜海	北総教区 永命寺 玉田法信	東京教区 圓融寺 阿純章	東京教区 寶泉寺 大塚亮英	神奈川教区 遍照寺 坂本圭司	信越教区 光前寺 吉澤道人
京都教区 高正寺 若林節哉	滋賀教区 泉福寺 安藏玄周	教区宗務所長 (寺籍簿順)	山形教区 中性院 清原良田	陸奥教区 観音寺 鮎貝宗城	福島教区 不動院 小笠原仁海	栃木教区 台元寺 井上純道	栃木教区 實教院 鈴木常元	茨城教区 如意輪寺 寺門俊明
神奈川教区 寶塔寺 榎本昇道	信越教区 長岳寺 入亮純	東海教区 瀧山寺 山田亮盛	三岐教区 常住寺 森喜良	九州西教区 安福寺 嘉瀬慶文	山陰教区 座光寺 中村満直	岡山教区 本性院 永宗幸信	兵庫教区 白毫寺 荒樋勝善	近畿教区 松見寺 兼平明観
陸奥教区 満福寺 千葉亮賢	福島教区 西藏寺 横山大哲	栃木教区 全水寺 村田庸田	茨城教区 薬王院 中村純亮	群馬教区 長福寺 三浦祐俊	埼玉教区 福正寺 木本清玄	南総教区 能満寺 高橋隆叡	北総教区 大乘寺 弘海高顯	東京教区 寶塔寺 林觀照







令和四年度常任委員会 委員長報告



— 担当委員 —  
本山・京都・岡山  
東海・信越・北総

結集研修委員会

委員長 山本賢潤(本山)

この度、十月七日に東海結集が開催され、皆様のご協力とご尽力を賜り、無事に円成を迎えましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年は、新型コロナウイルスの影響も最小限にとどまり、対面で結集が執り行われました。十二月六日には、祖師先徳鑽仰大法会伝教大師一千二百年大遠忌法要が大講堂で執行され、令和五年三月には、祖師先徳鑽仰大法会結願法要と、祖師方への報恩法要が続いてまいります。角本代表はじめ連盟役員事務局と協議を重ねて、無事円成を迎えられますように邁進していきたく存じます。

今後の結集については、来年信越仏青様、令和六年には茨城仏青様と続いてまいります。それ以外に、結集委員会としてリモート研修会の実施に取り組み、研鑽に勤められる機会を増やしていきたいと存じます。

「疾風に勁草を知る」という言葉があります。コロナという激しい嵐が吹いてはじめて、仏青の強い節操の堅さや意思の強さを示す時であります。今後もご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



— 担当委員 —  
近畿・兵庫・九州西・三岐  
南総・栃木・福島

救援委員会

委員長 矢島義浩(福島)

救援委員会では、地球救援募金活動、各種支援団体への支援実施、災害発生時の情報収集と被災地への救援物資や支援金送付、各教区仏青への募金協力依頼等の活動を行っております。

本年度は、平時に地球救援基金の勧募や各種支援団体の選定などを行い、災害発生時には、被災地の被災状況やボランティア募集状況等の情報収集に始まり、救援物資や義援金・支援金の送付、ウクライナ戦争の難民人道支援ボランティアの募集や救援募金の協力依頼などの活動を実施致しました。

また、大規模災害時の重機オペレーター不足を解消するために「一般財団法人日本笑顔プロジェクト」のご協力をいただき、小型重機資格取得講習会も開催致しました。

最後に、被災地支援に対し多大なるご協力を頂きました各教区仏の皆様に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。



— 担当委員 —  
山陰・北陸・東京  
陸奥・山形・北海道

情報通信委員会

委員長 大野豪祐(東京)

情報通信委員会ではウェブメディアを利用して天台仏青連盟の活動報告や情報発信を行ってきました。

まず天台仏青連盟のホームページについてですが、令和以降にリニューアルされたホームページと、それ以前に運営されていた旧ホームページの二種類が存在しています。前代議員会からの引き継ぎ課題として新旧ホームページの統一を計画していましたが、作業完遂には至りませんでした。専門業者への依頼を検討することも含めて今後の課題とします。

次にSNSについてですが、フェイスブック、インスタグラム、ライン公式アカウントを利用し、SNSの特色に合わせて使い分けられました。SNSは記事投稿が容易であり、利用者もアクセスしやすい為、今後も大いに活用できると思います。

活動を多くの方に周知できるよう、時代に合わせた情報発信を模索してゆきますので、今後も天台仏青連盟のウェブメディアをよろしく申し上げます。



— 担当委員 —  
滋賀・四国・九州東  
神奈川・埼玉・群馬・茨城

布教広報委員会

委員長 樋口亮全(神奈川)

今年度は、令和四年四月、天台宗務庁にて、そして十月京都タワーホテルにて定例代議員会と併せて布教広報委員会が行われました。どちらも対面での委員会を開催することができ、改めて顔を合わせての会議の大切さを感じました。

今年度は、「連盟創立五十周年記念誌」そして「天台佛青連」通常記号を無事発行することが出来ました。両紙面へのご寄稿等ご協力いただき誠にありがとうございます。また、今後「天台佛青連」臨時号を発行予定です。臨時号では、お写真の提供等お願いするかと存じますが、重ねてご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、布教広報委員会をサポート下さった担当役員、そして会員の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もより良い紙面作成のため、当委員会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

お陰さまをもちまして、無事に本誌を刊行することができました。ご寄稿くださった皆さまの御陰で、実に読み応えのある記事が揃ったものと感謝しております。

さて、振り返りますと、この一年は宗教界にとって大きな緊張に包まれた年でありました。ところが、これほど大きな事件に触れていながら、その報道に接するたびにどこか他人事のような気持ちでそれを眺めている自分に気づかれます。我々が暮らす社会において、いま現実に苦しんでいる人がいる。そうであれば、その苦しみを我がこととして受け止め、その苦しみをもたらしている社会に向き合っていこうというのが我々の本当の在り方はずです。摸索を繰り返すばかりの日々ではありませんが、小さくとも一歩一歩前進していきたいものです。

最後になりましたが、今後とも多くの皆さまにご愛読いただけるよう、編集員一同、より一層の精進を重ねてまいります。ご意見ご感想を賜れば幸いです。ご愛読ありがとうございます。

布教広報委員

瀧本浩慈(滋賀)